

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 水・1	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 II (Comprehensive English II)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) Kc	科目分類	外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 小笠原真司/Eメールアドレス: ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp/ 研究室:TEL: 095-819-2094 /オフィスアワー: 水3 金3			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p><b>授業のねらい:</b>このクラスは、現代世界がかかえている環境問題や最新の食品問題を学びながら、英語リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。</p> <p><b>授業方法:</b>演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得の充実を図ります。</p> <p><b>授業到達目標:</b> テキストの英語を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定された Key Word 約 200 語およびテキスト中の Words and Phrases 約 200 語の計 400 語を確実に意味がわかるように修得します。また、テキスト中にある TOEIC 形式の文法問題を解き、構文の基本を修得します。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p><b>授業内容(概要)</b></p> <p>授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20%は、この小テストにて評価されます。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。</p> <p>またプリント教材を用いて、リスニングの練習をします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>第 1回 オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs With Electricity to Save Them  第 2回 Unit 2. Humble' Potato Emerging as World' s Next Food Source  第 3回 Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power  第 4回 Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer' s  第 5回 Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property  第 6回 Unit 6. College Students Feel Better After Screaming Together  第 7回 Unit 7. Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers  第 8回 Unit 8. Smoking Bans Could Cut Into Cuban Cigar Sales  第 9回 Unit 9. Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water  第 10回 Unit 10. Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies  第 11回 Unit 11. African Farmers Seek Ways to Survive Droughts  第 12回 Unit 12. Fruity Cocktails May be Good for Health  第 13回 Unit 13. Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate  第 14回 Unit 14. Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating  第 15回 必修語彙 400 の確認 (定期試験を含む)</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):テキスト <i>How Then</i> (南雲堂) (CD 付) 1,800 円(第 1 回目の授業時に教室にて販売します) 教材 :プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○ 定期試験 70%、毎回の小テスト 20%、授業中の発表 10%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則です。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			